

国立

神戸大学

問合せ先 医学科教務学生係

☎650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

☎(078)382-5205 <http://www.med.kobe-u.ac.jp/>**教育目標&特色**

兵庫県立医学専門学校→兵庫県立医科大学→神戸医科大学→神戸大学医学部という歴史を歩み、全国に先駆けて学部学生全員を各基礎系医学講座に配置して研究を体験する基礎配属実習を行うなど、医学教育のみならず医学研究教育にも力を入れてきた。その結果、細胞内シグナル伝達や iPS 細胞等の分野で世界をリードする医学研究者を輩出。人間性豊かで高い倫理観ならびに探求心と創造性を有する科学者としての視点を持つ医師・医学研究者を育成するために国際的に卓越した教育を提供することを基本理念としている。医学科における教育は、高い倫理観を有し、高度な専門的知識・技能を身につけた医師を育成することを目的としているが、それにとどまらず、旺盛な探究心と想像力を有する「科学者」としての視点を持った医師および生命科学・医学研究者を育成することを目指している。また、広い視野を有し、それぞれの領域における指導者として国際的に活躍できる人材の育成を目標としている。

**カリキュラムの特色**

1年次は六甲台の鶴甲キャンパスでリベラル・アーツ(全学共通教育科目、転換教育科目)を履修。2年次から楠キャンパスで基礎医学が始まる。生理学・細胞生物学講座では生命現象を形態や生理機能の面から学び、生化学・分子生物学講座では生命現象を維持する種々の物質や分子にスポットをあて、生命活動の道筋を解き明かす。病理学講座では病気によりもたらされる臓器や組織のかたちの変化を追究して、その原因を明らかにする。微生物学講座では細菌やウイルスの病原性について分子・細胞・個体レベルで明らかにして、新しい治療法や予防法を確立する。地域社会医学・健康科学講座では医療と社会の間の接点にテーマを見つけて探究する。4年次から始まる臨床医学では人間を構成する各臓器の機能や病気についての研究と診断・治療が行われる。内科学講座では循環器、呼吸器、消化器、内分泌、腎臓、神経など臓器別に分かれて診療や研究が行われている。内科系講座には放射線を用いた診断や治療を行う放射線医学、赤ちゃんや子どもの病気を扱う小児科学、アトピーや皮膚がんなどを扱う皮膚科学、心の病気を扱う精神医学、臨床検査法を開発する臨床検査医学などがある。外科学講座では、消化管や消化管に附属する膵臓や肝臓のがんなどの外科的治療、乳がんの診断や治療、心臓や血管、呼吸器の病気の外科的治療と研究を行っている。外科系講座では骨や筋などの運動器、脳や脊髄などの神経、目・耳・鼻などの感覚器、泌尿器や女性生殖器などの疾患の外科的治療と研究を行っている。5年次には臨床配属実習 (bed side learning) として臓器機能別診療に対応させた診療参加型学習を行い、臨床の場での現場の体験に力点をおいて教育を行っている。6年次では関連病院の協力を得て、学外選択臨床配属実習を通じて幅広く臨床医としての態度・技能・知識の獲得を目指している。

**大学DATA**

◆沿革 明治2年創設の医学伝習所が前身。昭和19年に兵庫県立医学専門学校を設置し、昭和21年に兵庫県立医科大学、昭和27年に神戸医科大学となり、昭和39年に神戸大学医学部となった。

◆学部所在地 \*楠キャンパス(専門教育)=問合せ先と同じ。**アクセス**地下鉄大倉山駅下車、徒歩5分。JR神戸駅・高速神戸駅下車、徒歩15分。

\*鶴甲キャンパス(全学共通教育・転換教育)=☎657-8501 神戸市灘区鶴甲1-2-1 **アクセス**阪急六甲駅・JR六甲道駅・阪神御影駅から市バス⑥六甲ケーブル下行で、神大国際文化学部前下車。

◆学部学科・定員 医学部=医学科117名(うち2年次編入学定員5名)

◆大学院 医学系研究科=医科学専攻78名

◆おもな付属施設 附属病院、動物実験施設、感染症センター、総合臨床教育センターなど。

◆学寮 住吉寮・定員194名(男子)、住吉国際学生宿舎・定員78名(男子)・58名(女子)、白鷗寮・定員232名(男子)・32名(女子)、国維寮・定員134名(男子・女子)、女子寮・定員78名。いずれも他学部と共用。

**参考資料****●医師国家試験合格率**

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	125	123	109	88.6%	113	112	106	94.6%	12	11	3	27.3%
2016	115	115	103	89.6%	104	104	98	94.2%	11	11	5	45.5%
2015	123	121	111	91.7%	113	111	107	96.4%	10	10	4	40.0%

**●学校納付金(2018年度)**

区 分	入学手続時	初年度総額	2年次以降
入学金	282,000 円	282,000 円	-
授業料	267,900 円	535,800 円	535,800 円
合 計	549,900 円	817,800 円	535,800 円
6年間総計	3,496,800 円		

\*ほかに諸会費が必要になる。

**●奨学金制度**

日本学生支援機構奨学金のほかに、地方公共団体や民間奨学団体の奨学金制度がある。

# 2018 年度入試要項

## 募集人員

区分	一般前期	一般後期	推薦	AO	編入学
医学科	92	-	10	10	5

## 試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般入試	前期日程	1月22日～1月31日	2月25日・26日	3月9日	3月15日
	後期日程	募集しない			
AO入試	1次選考	1月16日～1月24日	書類選考	2月1日	
	2次選考		2月5日	2月7日	2月14日
推薦入試	1次選考	1月16日～1月24日	書類選考	2月1日	
	2次選考		2月5日	2月7日	2月14日

## 一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
センター試験	国語	国。	80	80
	地歴・公民	世B、日B、地理B、倫政経→1。	40	60
	数学	数Ⅰ・数Aと、数Ⅱ・数B、簿、情報→1の計2。	80	各60
	理科	物、化、生→2。	80	各60
	外国語	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓→1。	80	80
個別試験	数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	150	120
	理科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	150	120
	外国語	コ英基・コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ・英会。	150	80
	面接	個人面接。	-	-

\*面接は医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみる。

## AO入試

①出願要件＝全教科がバランスよく優れている上に人間的にも優れており、医学の分野で指導的立場における活躍が期待され、医学科の教育目標を高い水準で達成できる十分な学力を有する現役。②選考方法＝書類審査・センター試験(5教科7科目)の成績による1次選考の合格者(募集人員の約2倍)に面接・口述試験を課す。<センター試験> ◇国語＝国。◇地歴・公民＝世B、日B、地理B、倫政経から1科目選択。◇数学＝数Ⅰ・数A必須、ほかに数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目選択の計2科目。◇理科＝物、化、生から2科目選択。◇外国語＝英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目選択。面接・口述試験は、質問に答えることを通して、生命科学・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価し、AO入試で求める学生像の視点から受験生の資質を見極める。

## 推薦入試

①推薦条件＝兵庫県内の高校または兵庫県外の高校で本人か保護者が県内に居住しており、卒業後は県内の医療に従事する全体の評定平均値が4.3以上の現役・1浪。1高校から2名以内。②選考方法＝書類審査・センター試験(5教科7科目)の成績による1次選考の合格者(募集人員の約2倍)に面接・口述試験を課す。<センター試験> ◇国語＝国。◇地歴・公民＝世B、日B、地理B、倫政経から1科目選択。◇数学＝数Ⅰ・数A必須、ほかに数Ⅱ・数B、簿、情報から1科目選択の計2科目。◇理科＝物、化、生から2科目選択。◇外国語＝英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目選択。面接・口述試験では地域医療・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価し、実施目的の視点から受験生の資質を見極める。

**2年次編入学** 大学を卒業した者(見込みを含む)。書類審査・筆記試験(生命科学と英語の総合問題)の合格者(募集

人員の約3倍)に2次試験として口述試験を課す。口述試験では出願者の最近の研究と医師を志すに至った経緯について、パワーポイントを用いて口頭で発表し、質疑応答を行う。

\* **合否判定** 一般入試はセンター試験・個別試験の総合点で判定する。面接の結果によって適性に大きく欠けると判断された場合は筆記試験の得点にかかわらず不合格とする。

\* **二段階選抜** 一般入試はセンター試験の成績が900点満点中650点以上の者を合格とする。

\* **試験場** 一般・推薦・AO＝本学橘キャンパス(地下鉄大倉山駅下車、徒歩5分。JR神戸駅・高速神戸駅下車、徒歩15分)。

\* **受験料** 一般17,000円、推薦17,000円、AO17,000円

### 入試のポイント

一般入試は前期のみ募集する。入試科目はセンター試験が5教科7科目、個別試験が数学・理科・英語の3教科＋面接。配点ウエートは個別試験重視だから、個別対策に重点をおきたいが、センター試験の成績によって二段階選抜が行われるのでセンター試験対策も疎かにできない。個別試験の正解例や出題の意図についてはホームページに公開されているから、参考にするといいだろう。今春の数学は(1)微分法と方程式、数列の極限、(2)定積分と不等式、無限級数、(3)無限等比級数、(4)空間ベクトルと確率、(5)曲線のパラメータ表示の5題。物理は(1)力学、(2)電磁気、(3)波動の3題。化学は(1)浸透圧、(2)有機化学、(3)無機化学、(4)天然有機化合物の4題。生物は(1)バイオテクノロジー、(2)免疫、(3)進化、(4)遺伝の4題。英語は(1)読解問題、(2)読解問題、(3)読解問題、(4)英作文の4題が出題された。教科書を主体に基礎固めを徹底するほか、過去問を研究するなど十分な対応策を講じておきたい。

# 2017 年度入試DATA

## ●入学者選抜実施状況

\* 2段階選抜は第1段階不合格者数を示す。

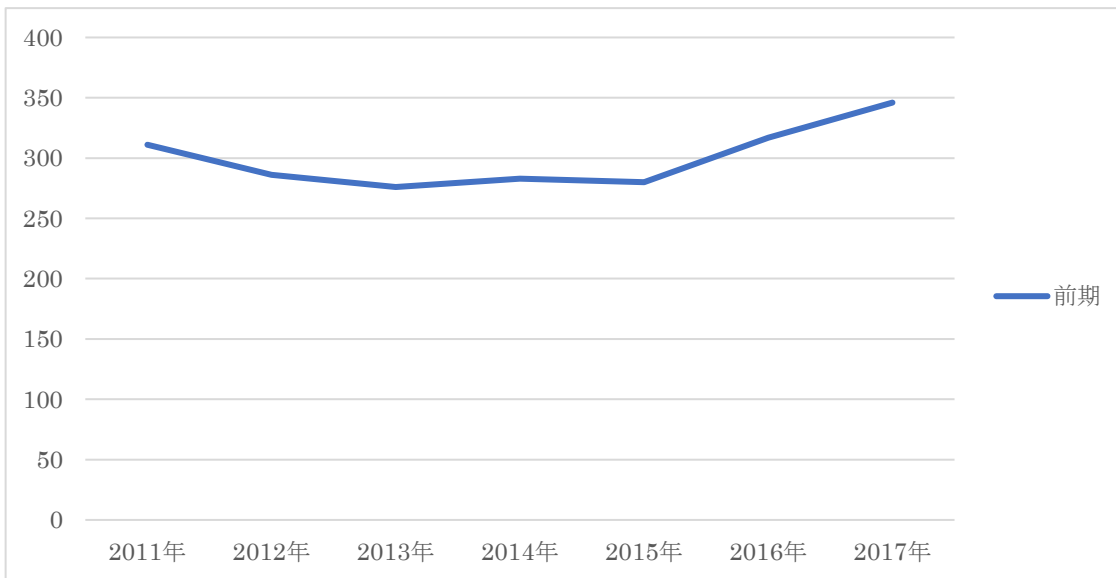
区分	募集人員	志願者	2段階選抜	受験者	当初合格	追加合格	合格者	競争率	入学辞退	入学者
前期	92	346	13	312	92	0	92	3.4	0	92
AO	10	93	73	20	10	0	10	2.0	0	10
推薦	10	36	14	22	10	0	10	2.2	0	10

## 【合格者の成績】

カッコ内は2016年度。

区分	配点	最高点	最低点	平均点
前期	850 (850)	697.000 (770.666)	616.640 (678.308)	639.312 (701.258)

## 【志願者数の推移】



## ●小論文の内容

小論文は課さない。

## ●面接の内容

一般入試・推薦入試・AO入試とも実施する。一般入試は面接官3名の個人面接で、時間は5分。医師及び医学研究者となるにふさわしい適性をみる。AO入試と推薦入試は面接・口述試験で、AO入試は質問に答えることを通して、生命科学・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価し、AO入試で求める学生像の視点から受験生の資質を見極め、推薦入試は地域医療・医学への興味や適性、学習意欲、思考性、論理性、人間性などについて多面的・総合的に評価し、実施目的の視点から受験生の資質を見極める。